

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		同時刻に指導員の数の受け入れなので時間帯や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせてスペースを作っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員を3名以上配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		過度な情報にならないようにシンプルな作りの環境で障害特性に合わせ配慮している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃や片づけを行い、環境の保全に努めている。特に今年は「コロナ禍」であったため、管理者を中心に意識した。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		児発管を始め、意識出来ているように思う。各々が短期、長期目標を設定し、それに向けて努力している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、業務改善につなげる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しHPにて公開する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は利用者・社内の2者評価となっています。第三者による外部評価については現在実施の予定はありません。今後必要に応じて実施を検討致します
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・会社の発達支援研究所が職員の資質向上のための	

				<p>初任者研修・定例研修を実施している。</p> <p>・他エリアの職員と話し合う機会が多く、気づきやアイデアをたくさん得ることが出来る。</p>	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<p>受付シートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成している。</p>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		<p>計画期間ごとにアセスメントを実施している。</p>
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		<p>半年ごとのモニタリングを実施し、具体的な支援方針等を確認し、内容を選定している。</p>
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		<p>支援計画に沿って日々の状況に合わせて支援の内容を考えて提供している。</p>
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		<p>複数担当であるため指導員同士で話し合うことが多い。必要に応じて児発管も入り、アドバイスを得て支援プログラムを立てている。</p>
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		<p>日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしている。</p>
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		<p>小集団の様子なども踏まえて見立てを共有し考えている。</p>
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		<p>朝のミーティングまたは月に2回以上、長めのミーティングを実施して生徒の情報を共有している。</p>
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		<p>療育の空き時間や次の日のミーティングで共有している。</p>
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<p>日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。</p>

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議への参加が少ない。体制的には児発管が参加できるようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて情報の共有や連携を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要望がある場合、訪問し情報の共有を図っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要望がある場合、訪問し情報の共有を図っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		案内を職員に回覧し、希望があれば積極的に研修に参加している。	コロナを機に zoom での研修が多かったこともあり、参加しやすくなった。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深めていきたい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		野洲、近江八幡圏域のものは参加できている。東近江圏域のものがあまり参加できていない。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の振り返りの中で共通理解を持っている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		家族へのアドバイスや相談に乗ることはあるが家族支援プログラムとしては計画的には行っていないため、検討していきたい。
保護	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明している。	

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて時間を取って保護者の相談に応じている。 ・FBの時間を大切にし保護者自身が話すことを大事にしている。 	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		個人情報保護の観点からも積極的な保護者同士の連携は行っていません。今後要望や必要性を感じたら検討していきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な会報はないが、入口付近に行事予定等を掲示している。また、LINEやインスタグラムなどを有効活用し、事業所情報やイベント情報を発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。廃棄書類はシュレッダーで処理している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的ツールなど活用している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みの時に利用者だけでなく、地域の子どもたちを対象としたイベント実施。 ・月一回はちばち広場にてイベント実施。 ・月二回教室開放をしている。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練も月に1回程度行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメントシートなどにて確認している。 ・特に身体に関することは迅速に対応するよう心掛けている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事例について自事業所の情報も共有している。	他校舎での事例も共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		1年に1回以上研修を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2

保護者等数（児童数）：15名 回収数：13名 割合：86%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				スペースが広く体を動かして活動することができるためとても喜んでいます。	特に意見はなかったが大方は利用者も多いため、部屋割りについては同じ児童が個室にならないよう輪番制で部屋割りをしている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12			1	子供の様子や気になることなどどんなことを質問しても返答してもらっている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				・いつもきれいで過ごしやすい。 ・活動内容によってパーテーションを使っている。	引き続き、安心して居心地のよい環境作りに努めたい。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13				親の意見も取り入れてもらったの支援計画を作ってもらって助かっている。	日々変わるニーズであってもお子様や保護者の方にしっかり向き合い、対応していきたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	1		2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1		1	本人の希望に柔軟に対応してくださっている。	

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	7		交流自体はありません。お子様の情報共有という点で訪問することがあります。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13						
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	1			課題ごとの具体的な内容が知りたいです。	ガイドラインを使い、説明します。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	2	4	4	丁寧なFBをして下さり、話もしっかり耳を傾けて聞いてくださっている。		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13				日々の療育の様子、取り組む姿勢を丁寧に伝えてもらっている。	療育後の振り返りを中心に、保護者の方と話し、日々療育に活かしている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	3	8			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	2			1	相談させてもらったことはいつもすぐに対応してくれたり、調べたりとしてくださったりと大変感謝しております。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	2			3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13						
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	1			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	3	6			

満足度	⑫	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1				具体的な意見はなかったが、「きらり」に行きたいと言ってもらえるような事業所であり続けたいと思います。
	⑬	事業所の支援に満足しているか	13				子供にも保護者にも寄り添ったサポートをして下さり本当にありがとうございます。	利用者及び保護者の方に満足していただけるように努めたいと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。